

インドの「判断基準」策定に向けたステアリングコミッティ会議に専門家を派遣しました。

【事業概要】

一般財団法人省エネルギーセンターは、経済産業省から委託を受けて、今年度のインド向け事業として、インド産業部門への「判断基準（Energy Conservation Guideline）」の導入支援を実施しています。9月21日に、インドエネルギー効率局（BEE: Bureau of Energy Efficiency）が主催するステアリングコミッティ会議に参加し、インド版「判断基準」策定に協力しました。



ステアリングコミッティ会議の様子



日本のプレゼンテーション

インドは、産業部門における省エネルギー推進の為の政策として、日本で実績のある「判断基準」の導入を計画しています。インド版「判断基準」を策定する為、インドエネルギー効率局(BEE)の下に、インド商工会議所連合会(FICCI)、インド標準局(BSI)、インド中央電力庁(CEA)他産業団体からの代表を委員とするステアリングコミッティが組織され、9月21日(木)、BEEの会議室にて第一回の会議が開催されました。

一般財団法人省エネルギーセンターは、昨年度、「判断基準」をインドに紹介して以来、インドの「判断基準」導入支援を行っています。今回、同会議にオブザーバーとして招待され、「判断基準」の概要及び今後の支援プログラムについて説明しました。

ステアリングコミッティの今後のスケジュールは、年内にインド版「判断基準」の作業ドラフトが作成し、来年1月中旬、日本の招待で開催されるワークショップにて日本の専門家を交えた意見交換を経て、ドラフトの最終化を図る事になっています。